

付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ情報

平成25年12月13日～12月19日に陸奥湾5定点で第6回付着生物(ユウレイボヤ等)ラーバ調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ラーバの出現数

各地の出現数は表1、出現数の推移は図1～3のとおりです。

ユウレイボヤのラーバは、久栗坂沖で1.7個/トン、蟹田沖、奥内沖、小湊沖、川内沖ではそれぞれ0個/トンでした。

オベリア類(通称「クサ」)のクラゲは、蟹田沖で0個/トン、奥内沖で3.0個/トン、久栗坂沖で3.3個/トン、小湊沖で1.3個/トン、川内沖で35.9個/トンでした。

ザラボヤ、ネンエキボヤのラーバは見られませんでした。

表1 付着生物のラーバ等の出現数

単位: 個/トン					
調査地点	調査月日	ユウレイボヤ	ザラボヤ	ネンエキボヤ	オベリア類
蟹田沖	H25.12.19	0.0	0.0	0.0	0.0
奥内沖	H25.12.19	0.0	0.0	0.0	3.0
久栗坂沖	H25.12.13	1.7	0.0	0.0	3.3
小湊沖	H25.12.18	0.0	0.0	0.0	1.3
川内沖	H25.12.17	0.0	0.0	0.0	35.9

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 水温の状況

各ブイの12月25日の平均水温は、表2のとおりです。

表2 各ブイの中層における日平均水温(12/25)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	13.2	東田沢ブイ	-	横浜ブイ	-
蓬田ブイ	-	清水川ブイ	-	浜奥内ブイ	7.7
奥内ブイ	-	野辺地ブイ	-	川内ブイ	-
青森ブイ	10.8	東湾ブイ	9.2	脇野沢ブイ	-
浦田ブイ	-				

※奥内、浦田、野辺地、浜奥内は10m層、それ以外は15m層の値

3 今後の見込み

ユウレイボヤのラーバがまだ見られる地点もありますが、出現数は少ない状況となっています。

また、オベリア類のクラゲが川内沖で大幅に増加し、1mm以上の大型のものが見られるようになりました。

久栗坂実験漁場で試験中のパールネット等に、ユウレイボヤ、ネンエキボヤ、ザラボヤの付着が見られていますが、オベリア類(通称「クサ」)の付着はまだ見られていません。

今後のラーバの出現動向については、次回(1月上旬発行予定)の情報を参考にしてください。

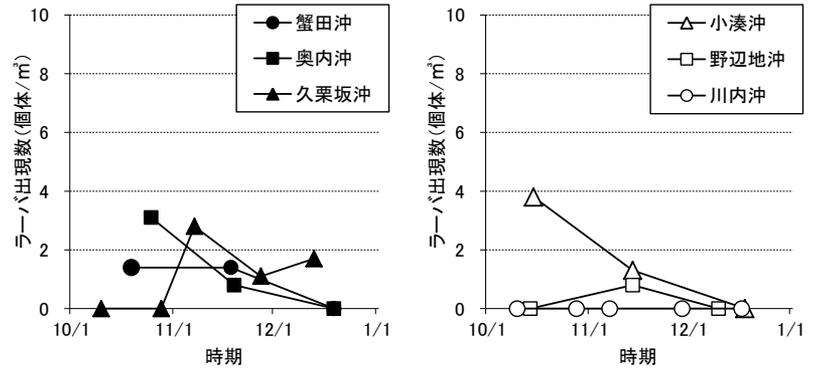


図1 ユウレイボヤラーバ出現数の推移

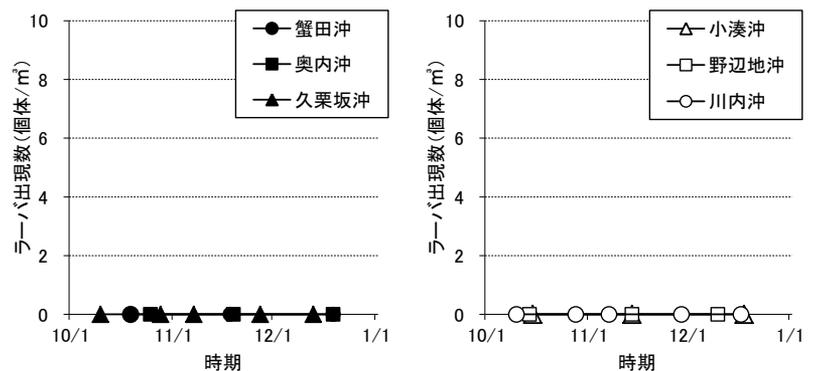


図2 ネンエキボヤラーバ出現数の推移

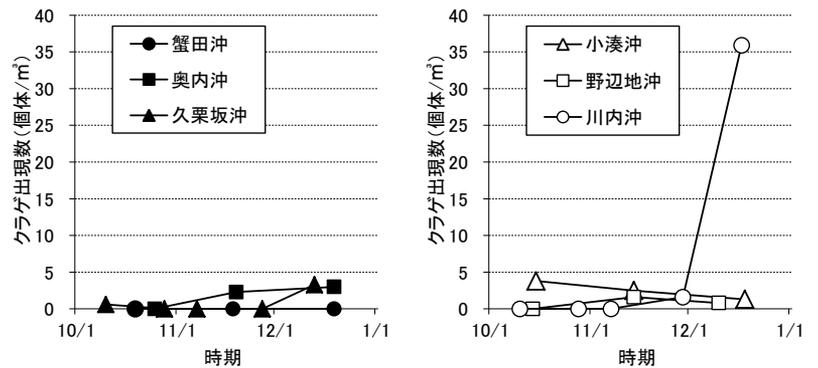


図3 オベリア類クラゲ出現数の推移



写真1 ユウレイボヤの浮遊幼生



写真2 ザラボヤの浮遊幼生



写真3 ネンエキボヤの浮遊幼生



写真4 オベリア類のクラゲ

発行元: 地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

水産総合研究所ホームページ <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2184>

①ホタテガイ採苗速報 携帯電話用QRコード

②陸奥湾観測データ総合管理システム 携帯電話用QRコード

